

学校だより

「チャレンジ! なかよし! 進んで学ぶ 東の子」



リテツのホ

2月号

令和6年1月31日
横浜市立高田東小学校

学校HP:<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/takatahigashi/>

日々の何気ないことを…



副校長 佐藤 万里子

先日、正門を入れて左奥にある紅梅と白梅の木に、メジロが止まっていました。比較的暖かな朝でしたので、しばらくその光景を見ながら、少し先の春を感じていました。同じ日の夕方校内を回っていると、体育館に夕日が当たり輝いていました。

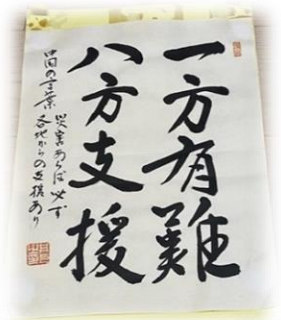
4階の廊下の窓からは太陽が丹沢の山々に沈んだ直後で、稜線に沿って空がまぶしいほどオレンジ色に染まっていました。その景色に感動していると、興禅寺の鐘の音が間隔を置いて聞こえてきました。こんな穏やかな日がある一方で、日本海側では今季初の大寒波の襲来による大雪や冷たい雨の便りも聞こえてきます。

学校には「生活安全」「交通安全」「災害安全」という3つの安全教育があります。本校でも、それぞれ計画を立てて取り組んでいます。災害安全は、年間計画に合わせて避難訓練を行い、非常時の子ども自身の動き方を確認すると同時に、教職員も動線や自分の役割を確認しています。今月には教員がそばにいないことが多い休み時間の訓練を予定しています。繰り返し行うことにより、いざというときに動ける子どもたちを育てています。

私は以前、阪神淡路大震災で被災し、その後様々な活動をしている方と知り合いになりました。その際もらった書を、必ずクラス目標の横に掲示していました。これは、地震直後にめちゃくちゃになった事務所に閉じ込められていたとき、中国の知り合いからファックスで届いた言葉だそうです。

災害あれば、必ず各地からの支援あり

日本海側の2月の寒さは、とても厳しいです。能登半島の被災地を思わずにはられません。これまで発生している自然災害の報道を見聞きすると、普段の生活が一瞬で失われてしまうことの怖さを感じます。被災地には、医療関係者をはじめ全国各地の自治体等から支援の手が届いていますが、私たちが横浜の地にもできることは何かを考えていきたいと思っています。



高田東小学校の校庭では、子どもたちは寒さを気にせずに休み時間になると元気に遊んでいます。現在は、長縄集会に向けて、たくさんのクラスが練習に励んでいます。被災した子どもたちが一日も早くこれまで通りに友達と共に学習したり、遊びを楽しんだりする日がきてくれることを願わずにはられません。そして日々の何気ない生活を大切にしていきたいと改めて思います。